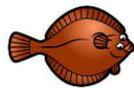




お好みのさつまいもは??



実りの秋となりました。近年様々な種類が店頭に並びさつまいも。それぞれの違いはご存知ですか？
まずは、昔ながらのホクホクとした食感な「金時」「紅あずま」。焼き芋はもちろん、天ぷらや煮物など料理にはオールマイティーなさつまいもです。次は今話題のネットリ系の「安納芋」「シルクスイート」。糖度が高いのでとにかく甘い！水分も多いので、ネットリしています。安納芋の中には蜜がたっぷりです。まるでスイーツの様。シルクスイートはとにかく滑らか。濃厚な甘みですが、スッキリと後味残らない上品な舌触りです。これらの中間が「紅はるか」しっとり滑らかですが、従来のホクホク感も残っています。甘みも安納芋に負けない程。食べ比べをして、お好みのさつまいもを見つけてみたらいかがでしょうか。



『朔望月』

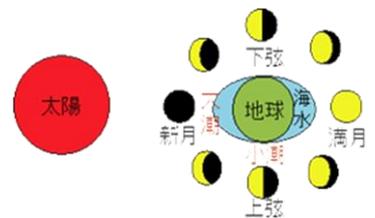


暑さも徐々に和らぎ秋らしくなってきましたね。

月が綺麗に見える季節ですがよく考えると月について知っているようで知らないなと気が付いたので少し調べてみることにしました！

旧暦では新月(朔)～満月(望)をおよそ十五日間とし新月～新月を一か月(正確には29.53日)としていました、これを朔望月と呼びます。そして旧暦の十五日は十五夜と呼び満月を意味してします。月が綺麗に見える旧暦八月十五日(現在の暦では九月～十月)は「中秋の名月」と呼ばれるようになり月を鑑賞する風習が生まれたそうです、ちなみに今年の中秋の名月は十月四日。また収穫の時期でもあるのでその年の収穫物を月に供える風習があり「芋名月」などとも呼ばれていました、現在の月見団子は芋の代わりだそうです。

月の満ち欠けは新月から始まり、上弦・満月・下弦・そしてまた新月で一回り、新月と満月では地球・月・太陽が一直線に並びため月と太陽の引力の影響で海面の高低差が最も大きくなる大潮となり、上弦・下弦では地球を軸にして月と太陽が直角になるため海面の高低差が小さい小潮になります。普段何気なく眺めている月も位置や海の様子を考えながら眺めるとまた違った見方ができて新鮮に映るかもしれません。



ちなみに大潮は魚の動きが活発になるので釣り人は大潮が大好き！

皆さんの周りで新月や満月のときにそわそわしている人がいたらそれは釣り好きな人かもしれませんね(笑)

常盤好司

— 学園祭のおしらせ —

本校学園祭が 10/29 (日) に開催されます。毎年、チャリティーマッサージやバザーもご好評いただいております。是非お越しください！



— 休診のおしらせ —

<太田先生>

『ゴーセンカップスイングビーチ牧之原国際レディーステニストーナメント』にトレーナーとして帯同

するため、10月 7日 (土) ~ 15日 (日) を休診とさせていただきます。

<前田先生>

『国民体育大会』に選手帯同のため、9/28 (木) ~ 10/4 (水) を、また、『浜松三ヶ日国際レディーステニストーナメント』のため、10/15 (日) ~ 22日 (日)

【10月休診日】

1日、8日、9日 (体育の日)

15日、22日、29日

常盤 好司 (ときわ こうじ)

出身地：神奈川県

はり・灸・あん摩マッサージ指圧師

